

【平成31年度 予算要求の経営方針】

本市では「SDGs未来都市」「東アジア文化都市」の選定を契機に、市民への普及啓発を図るとともに、市民と一体となった取組を推進することで、まち全体を盛り上げ、シビックプライドの醸成に努めている。

また、地方創生や防災など市民に身近な行政課題に対応するため、市民ニーズを的確に把握し、課題を共有したうえで、理解を求め、参加を促し、協働することが重要である。

このためには、市民に向けた積極的な情報発信とコミュニケーションが不可欠であり、平成31年度は、「わかりやすく良質」な市政情報の提供」「効果・効率的な情報発信」「協働のまちづくりを推進するための市民ニーズの把握」の3つの柱に基づいた取組みを重点的に実施する。

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

○：新規事業、◎：拡充事業

● “わかりやすく良質”な市政情報の提供

要求額 271百万円 (対前年度 ▲2.8%)

- 市政だより発行事務
- 市政テレビ等による広報
- 市政ラジオ等による広報
- 地域密着広報事業

● 効果・効率的な情報発信

要求額 74百万円 (対前年度 +100.5%)

- 広報発信強化推進事業
- ホームページを活用した情報発信事業
- ウェブ環境改善事業
- ◎クロスメディアによる情報発信事業

● 協働のまちづくりを推進するための市民ニーズの把握

要求額 45百万円 (対前年度 +3.9%)

- 北九州市総合コールセンター運営事業
- 広聴事務事業
- 広聴業務管理事務

● その他

要求額 9百万円 (対前年度 +6.5%)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。